

令和4年度 第4回 中部地方整備局事業評価監視委員会 再評価（一括審議）案件一覧

資料5

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点	都道府県・政令市 等の意見
1 (資料6)	国道21号 関ヶ原バイパス	自 岐阜県不破 郡垂井町日守 至 岐阜県不破 郡関ヶ原町今須	S47年度事業化 S55年度用地着手 S58年度工事着手	440 440	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 約85% 事業進捗率 約58% (令和4年 3月末時点) 岐阜県不破郡垂井町日守～岐 阜県不破郡関ヶ原町玉 L=6.0km 平成5年度～平成15年度開通 (2/4)	・令和4年度は以下内容を実施 【不破郡関ヶ原町玉～不破郡関ヶ 原町今須】 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法 の採用等による新たなコス ト削減に努めながら事業を 推進する。	【事業全体】 総便益B:882億円 総費用C:811億円 B/C=1.1 【事業全体】 総便益B:909億円 総費用C:985億円 B/C=0.92 【残事業】 総便益B:228億円 総費用C:166億円 B/C=1.4 【残事業】 総便益B:288億円 総費用C:189億円 B/C=1.5	継続
2 (資料7)	国道153号 伊駒アルプスロー ド	自 長野県駒ヶ根 市赤穂 至 長野県伊那 市美篤	R2年度事業化	620 620	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 0% 事業進捗率 約1% (令和4年 3月末時点)	・令和4年度は以下内容を実施 【駒ヶ根市赤穂～伊那市美篤】 ・調査推進 用地調査、環境調査、水文調 査、 道路詳細設計、橋梁詳細設計、 調査設計(協議用資料作成等)	・技術の進展に伴う新工法 の採用等による新たなコス ト削減に努めながら事業を 推進する。	【事業全体】 総便益B:1,037億円 総費用C:630億円 B/C=1.6 【事業全体】 総便益B:4,891億円 総費用C:2,297億円 B/C=2.1 【残事業】 総便益B:- 総費用C:- B/C=- 【残事業】 総便益B:2,258億円 総費用C:686億円 B/C=3.3	継続
3 (資料8)	富士山直轄砂防事 業	富士市、富士宮 市、裾野市、御殿 場市、小山町、長 泉町、沼津市、三 島市、富士吉田 市、鳴沢村、山中 湖村、富士河口 湖町、忍野村、都 留市、西桂町、身 延町	H24年度～R28年 度	約887 約887	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	・堰堤31%(9/29基) ・土石流堆積工16%(5/32基)	・現中期計画開始時(H24)から14 基の堰堤、土石流堆積工等が完成 しており、風祭上流堰堤工群、春沢 堰堤工群、大久保沢堰堤工群等の 整備を継続している。 ・令和4年度より北麓の浅間沢にお いても事業を着手している。 ・順調に整備が進んでおり、大きな 支障となる事項はない。	・砂防施設を整備する際 には現地発生材を利用した砂 防ソイルセメント工法の活用 により、全体事業のコスト縮 減を図っている。本事業の 中期的な計画は流域の特 性や過去の災害の状況、社 会経済状況、自然環境状況 を勘案した計画であり、概 ね30年に進める事業の目 標のための効果が大きい事 業。前回評価時以降、社会 経済状況が大きく変化して いないことから砂防事業に よる対策が適切。	【事業全体】 総便益B:3,086億円 総費用C: 618億円 B/C=5.0 【事業全体】 総便益B:5,246億円 総費用C: 811億円 B/C=6.5 【残事業】 総便益B:2,594億円 総費用C: 465億円 B/C=5.6 【残事業】 総便益B:1,745億円 総費用C: 320億円 B/C=5.4	継続